

プログラム

第1日 10月9日(金)

特別講演

第一会場(記念ホール) 13:30-14:30

座長: 中里 信和(東北大学てんかん科)

The New Healthcare Model: How to use Technology to Provide Low Cost High Impact Care

Prof. Curtis Lowery (Division of Maternal-Fetal Medicine, University of Arkansas for Medical Sciences)

特別企画

第一会場(記念ホール) 14:30-15:30

共催: ポリコムジャパン株式会社

座長: 白石 秀明(北海道大学小児科)

中里 信和(東北大学てんかん科)

てんかん症例検討会デモ: 遠隔会議システムの有用性

大会企画シンポジウムI

第一会場(記念ホール) 10:30-12:00

東日本大震災に学ぶ災害医療のその後～さらなる展開と進歩に向けて

—災害医療・救護における宮城モバイル・アセスメントシステム「RACESS-GM」～官民連携の推進と海外展開に向けて—

共催: 株式会社日本総合研究所、「大規模災害時における医療・救護情報システム研究会」
(Study Group of ICT for Medical Aid and Disaster Relief: iMeDief 研究会)

座長: 石井 正(東北大学病院総合地域医療教育支援部 教授)

東 博暢(日本総合研究所総合研究部門戦略コンサルティンググループ
融合戦略クラスター長)

1. 「本シンポジウムの趣旨と概要について」

東 博暢(日本総合研究所総合研究部門戦略コンサルティンググループ 融合戦略クラスター長)

2. 【基調講演】「大災害時におけるモバイル避難所アセスメントツールの開発」

石井 正(東北大学病院総合地域医療教育支援部 教授)

3. パネルディスカッション1

「大規模災害における避難所ラピッドアセスメント(迅速評価)体制標準化の重要性について」

(コーディネーター) 石井 正(東北大学病院総合地域医療教育支援部 教授)

(パネラー1) 金谷 泰宏(国立保健医療科学院健康危機管理研究部 部長)

(パネラー2) 熊谷 博((独)情報通信研究機構(NICT)耐災害ICT研究センター 副センター長)

4. パネルディスカッション2

「モバイルアセスメントシステムの普及に向けて」

(コーディネーター) 東 博暢(日本総合研究所総合研究部門戦略コンサルティンググループ 融合戦略クラスター長)

(パネラー1) 菊池 尚人(慶応義塾大学大学院メディアデザイン研究科 特任准教授)

(パネラー2) 石井 正(東北大学病院 総合地域医療教育支援部 教授)

(パネラー3) 山口 真吾(総務省 情報通信国際戦略局 技術政策課 企画官)

5. 「本シンポジウムの総括」

石井 正(東北大学病院総合地域医療教育支援部 教授)

東日本大震災がもたらした医療資源不足に「連携」で立ち向かう
—超高齢社会を受け止め、災害にも強い医療・介護・福祉三位一体の情報連携—

共催：ソネット株式会社

座長：成田 徳雄（気仙沼市立病院・脳神経外科科長）

1. 「地域包括ケアシステムと ICT ネットワーク～生活を支える ICT とは～」
柴田 真吾（NPO 法人長崎地域医療連携ネットワークシステム協議会理事（運営委員））
2. 「気仙沼における震災後の多職種連携—進みゆくヒューマンネットワークと ICT と地域活動—」
村岡 正朗（医療法人華月会理事長 / 村岡外科クリニック院長）
3. 「気仙沼包括ケアシステムの構築に向けて～人と IT をつなぐニューアナログ～」
成田 徳雄（気仙沼市立病院・脳神経外科科長）

一般演題 A-1

第一会場（記念ホール） 9:30-10:15

座長：鈴木 亮二（群馬大学医学部附属病院システム統合センター）

- A-1-1 服薬支援装置の開発と評価—花巻服薬支援プロジェクト
Development and evaluation of a medication support system — Hanamaki medication support project
鈴木 亮二（群馬大学医学部附属病院システム統合センター）
- A-1-2 国際的な遠隔医療カンファレンス運営のために必要な情報項目の標準化に向けた取り組み
Standardization of the necessary information items for handling international medical teleconference
工藤孔梨子¹、工藤 達郎²、寅田 信博¹、安徳 恭彰³、中島 直樹³、清水 周次¹（¹九州大学病院 アジア遠隔医療開発センター、²九州大学 芸術工学研究院、³九州大学病院 メディカル・インフォメーションセンター）
- A-1-3 学術ネットワーク（SINET）を使った胎児心エコーセミナーの報告
The report of seminar of fetal echocardiography with SINET
川瀧 元良¹、清水 周二²、安徳 恭彰²、工藤孔梨子²、波々伯部佳子²、野口 一人³、魚瀬 尚郎⁴
（¹東北大学大学院医学系研究科 融合医工学分野、²九州大学アジア遠隔医療開発センター、³愛媛大学 総合情報メディアセンター、⁴NTT-AT 研究所）

一般演題 A-2

第二会場（展示室） 9:30-10:15

座長：中島 功（東海大学医学部）

- A-2-1 鳥装着用 2.4 GHz 送受信モジュールの通信性能の基礎的評価
Fundamental evaluation of communication performance of 2.4 GHz transceiver for wild birds
北野 利彦、中田 薫、村木 能也、猪口 貞樹、中島 功（東海大学医学部）
- A-2-2 生体情報を自動ファイル転送する鳥鳥間通信プロトコール
<時分割タブレット方式による同報通信>
The protocol of the automatic file exchange for the bird-to-bird wireless communications
<Multicast packet protocol assigning the token tablet by time sharing>
中島 功、中田 薫、北野 利彦、村木 能也、猪口 貞樹（東海大学医学部）
- A-2-3 鳥類の骨格筋緊張とバイオテレメトリーに有用なさまざまな計測法
The avian skeletal muscle strain and its various measurement methods for biotelemetry
猪口 貞樹、中田 薫、北野 利彦、村木 能也、中島 功（東海大学医学部）

一般演題 A-3

第一会場（記念ホール） 15:45-16:30

座長：郡 隆之（利根中央病院 外科）

- A-3-1 遠隔画像診断と病診連携事例続報
—検査数の傾向考察—
Case report of the teleradiology between hospital and clinic
— The trend of the increasing teleradiology cases —
嗣江 建栄（ViewSend ICT 株式会社）
- A-3-2 遠隔画像診断システムによるオンコール医師の負担軽減に関する検討
Remote diagnostic imaging system reduce the over time call of on-call doctor
郡 隆之（利根中央病院 外科）
- A-3-3 医療過疎地域における遠隔診療支援システム（k-support）253例の解析
The analysis of 253 cases using the telemedicine system for emergency medicine（k-support）in a depopulated area
小幡 史明¹、影治 照喜²、田畑 良^{1,3}（¹徳島県立海部病院 総合診療科、²徳島大学病院 地域脳神経外科診療部、³徳島大学大学院 ヘルスバイオサイエンス研究部総合診療医学分野）

一般演題 A-4

第二会場（展示室） 15:45-16:45

座長：滝沢 正臣（信州大学附属病院遠隔診療室）

- A-4-1 e-MADO システムにより遠隔リハビリを実施した小児患者の家族に対する満足度調査
Patient satisfaction survey on the e-MADO telerehabilitation system for pediatric patients and their family
松清あゆみ¹、石川 哲男²、藤原 尚²、西澤 公美³、滝沢 正臣⁴（¹信濃医療福祉センター、²キッセイコムテック株式会社、³信州大学医学部保健学科、⁴信州大学附属病院遠隔診療室）
- A-4-2 構音障害のある患者への電子連絡ノート（His@home）の活用
The efficacy of “His@home” an iPad application, for dysarthria patient
内海 桃絵¹、黒川 愛理²、笹山 哲¹、出木谷 寛³、野本 慎一⁴（¹京都大学大学院医学研究科 人間健康科学系専攻、²京都大学医学部附属病院看護部、³出木谷医院、⁴滋賀県立リハビリテーションセンター）
- A-4-3 在宅難病患者と医師との高度テレコミュニケーションシステム II
An advanced telecommunication system for severe patients with neurological intractable diseases at home II
滝沢 正臣¹、中村 昭則¹、日根野晃代²、吉川健太郎³、渡辺 美緒⁴（¹信州大学医学部附属病院、²諏訪赤十字病院、³NHO まつもと医療センター、⁴群馬県立小児医療センター）
- A-4-4 多言語医療支援システムの研究開発
—看護師が翻訳を必要とする臨床会話—
Research and development of multilingual medical support system
— Clinical conversation nurses need translation —
長嶺めぐみ¹、瀧澤 清美²、鈴木 亮二³（¹群馬医療福祉大学看護学部、²株式会社 C&T、³群馬大学医学部附属病院システム統合センター）

一般演題 B-1

第三会場（5階会議室） 9:30-10:15

座長：鎌田 弘之（モリーオ株式会社）

- B-1-1 心臓病の早期発見のためのコストを抑えたホルター心電図システム
鎌田 弘之¹、佐々木和也¹、遠山 明人¹、齋藤 雄²、会田 孝行²、布川 憲司³（¹モリーオ株式会社、²グリム・エナジー株式会社、³株式会社リアルデザイン）
- B-1-2 遠隔リアルタイムモニタリングシステムの有用性
笠原 真悟^{1,3}、坂野 紀子^{1,2}、荻野 景規²、佐野 俊二³（¹岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 高齢社会医療・介護機器研究推進講座、²岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 公衆衛生学、³岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 心臓血管外科）
- B-1-3 インターネットを利用した脳波の遠隔診断
大沼 歩（一般財団法人広南会 広南病院神経内科）

一般演題 B-2

第四会場（研修室） 9:30-10:15

座長：石橋 忠司（東北大学医学系研究科画像診断学分野）

- B-2-1 支援側医師の立場からみた眼科遠隔医療支援の成立に必要な情報提供
花田 一臣^{1,2}、守屋 潔^{1,3}、石子 智士^{1,2}、木ノ内玲子^{1,2}、三上 大季^{1,3}、山口 亨⁴、吉田 晃敏^{2,3}（¹旭川医科大学医工連携総研講座、²旭川医科大学眼科、³旭川医科大学病院遠隔医療センター、⁴遠軽厚生病院眼科）
- B-2-2 遠隔放射線診断の経験（大学発ベンチャー企業として）
石橋 忠司¹、岡庭 貴志²、佐々木 真²（¹東北大学医学系研究科画像診断学分野（株式会社ラドネット東北）、²株式会社イメージワン）

- B-2-3 テレナーシング教育プログラムの開発と参加者による評価
 亀井 智子¹、山本 由子¹、中山 優季²、東福寺幾夫³、亀井 延明⁴、中島 紀高⁵、金盛 琢也¹
 (1聖路加国際大学看護学部、2東京都医学研究所、3高崎健康福祉大学、4明星大学理工学部、5聖路加国際大学亀井研究室)

一般演題 B-3

第三会場 (5 階会議室) 15:45-16:45

座長：小山耕太郎 (岩手医科大学医学部小児科学講座)

- B-3-1 県内全域に拡張した地域医療連携システムの可能性と問題点
 中山 雅晴^{1,2}、清水 宏明³、佐藤 和生⁴、中村 直毅²、中村 起也⁵ (1東北大学 災害科学国際研究所 災害医学研究部門 災害医療情報学、2東北大学病院 メディカル IT センター、3秋田大学 脳神経外科、4やもとクリニック、5広南病院 神経内科)
- B-3-2 少子超高齢社会と大規模災害に対応した広域医療情報連携ネットワークシステム
 小山耕太郎¹、石川 健¹、千田 勝一¹、小笠原邦昭²、赤坂 俊英³、江原 茂⁴、田中 良一⁴、垣 泰⁵、森野 禎浩⁵、小川 彰⁶ (1岩手医科大学医学部小児科学講座、2岩手医科大学医学部脳神経外科学講座、3岩手医科大学医学部皮膚科学講座、4岩手医科大学医学部放射線医学講座、5岩手医科大学医学部内科学講座、6岩手医科大学)
- B-3-3 原子力災害医療における web 会議システムの運用経験
 長谷川有史^{1,2} (1福島県立大学放射線災害医療学講座、2福島県立医科大学救急医療学講座)
- B-3-4 インターネットを使った胎児心エコーセミナーの経験
 川瀧 元良¹、佐藤 大²、鈴木麻里恵³、清水 周二⁴、安德 恭彰⁴、工藤孔梨子⁴、波々伯部佳子⁴、木村 友登⁵、山根 康嗣⁶ (1東北大学大学院医学系研究科 融合医工学分野、2東北大学 Medical IT center、3東北大学情報基盤室、4九州大学アジア遠隔医療開発センター、5一般社団法人みやぎ医療福祉情報ネットワーク協議会 (MMWIN)、6株式会社 NSD)

一般演題 B-4

第四会場 (研修室) 15:45-16:45

座長：山口 亨 (遠軽厚生病院 眼科)

- B-4-1 脳卒中後遺症にたいする遠隔サポートを加味した在宅ロボットリハビリの検討
 二宮 淳一^{1,2}、桑木 綱一¹、外谷 靖之²、野村 明子²、石崎 篤志²、鈴木 早智²、佐々木真奈美²、柏倉 友梨²、東海林 巧²、富井 咲妃² (1プロフェッショナル・ドクターズ・ネット、2光仁会第一病院リハビリテーション科)
- B-4-2 遠隔リハビリテーションの有用性と課題について—南極基地で発生した骨折例の検討
 大野義一郎^{1,2,4}、小池 敏弘³、原島 文哉³、佐藤 大作²、新井 雅之²、片山 輝彦²、町田 浩道⁵、樋口 和雄⁴、張 成虎⁶、武田龍太郎⁶ (1東葛病院 外科、2東葛病院 遠隔医療チーム、3東葛病院 リハビリテーション部、4国立極地研究所、5聖隷浜松病院、6東京大学医学部整形外科)
- B-4-3 非皮膚科向け皮膚疾患診療・治療補助サービス (ヒフミル君) を使用した臨床経験とその有益性
 竹村 昌敏¹、物部真一郎² (1三島総合病院整形外科、2東員病院精神科)
- B-4-4 リアルタイム遠隔外来を活用した眼科医療連携
 山口 亨¹、石子 智士²、守屋 潔^{2,3}、木ノ内玲子²、花田 一臣²、三上 大季^{2,3}、吉田 晃敏^{3,4} (1遠軽厚生病院眼科、2旭川医科大学医工連携総研講座、3旭川医科大学病院遠隔医療センター、4旭川医科大学眼科学講座)

第2日 10月10日(土)

大会企画シンポジウム III

第一会場(記念ホール) 10:20-11:50

Visual Communications System の遠隔医療における役割
—実用レベルになった、VC の医療への活用事例のご紹介—

共催: VidyoJapan 株式会社 / 丸紅情報システムズ株式会社
座長: 楠本 博茂 (VidyoJapan 株式会社 代表取締役)

1. 「海外における、Vidyo による遠隔医療の事例」
Amnon Gavish (Vidyo, Inc. SENIOR VICE PRESIDENT, VERTICAL SOLUTIONS Industry Council Chair of American Telemedicine Association)
2. 「先天性心疾患の胎児診断における、Vidyo を活用した遠隔診断の報告」
川滝 元良 (東北大学大学院医学系研究科融合医工学分野、神奈川県立こども医療センター 新生児科)
3. 「遠隔医療における 3D プリンタの担う役割」
杉山 久幸 (丸紅情報システムズ株式会社 モデリングソリューション技術部)

大会企画シンポジウム IV

第一会場(記念ホール) 14:30-16:00

我が国の潜在力の強化と未来社会を見据えた改革: イノベーション・ナショナルシステムの実現と IT・ロボットによる産業構造改革～遠隔病理を含む遠隔医療の今後の発展にむけて

共催: 三啓株式会社、株式会社クラーロ、浜松ホトニクス株式会社
後援: 日本デジタルパソロジー研究会

座長・オーガナイザー: 佐々木 毅 (東京大学医学部附属病院
地域連携推進・遠隔病理診断センター)
渡辺 みか (東北大学病院病理部
がんセンターテレパソロジーセンター)

1. 「遠隔医療—2015 年骨太政策と遠隔医療のためのデジタルパソロジーの活用と課題」
佐々木 毅 (東京大学医学部附属病院 地域連携推進・遠隔病理診断センター)
2. 「最新のデジタル技術を応用した遠隔病理診断(デジタルパソロジー)の実用化に向けて」
渡辺 みか (東北大学病院病理部 がんセンターテレパソロジーセンター)
3. 「病理診断のダブルチェックについて」
益池 靖典 (厚生労働省健康局 がん・疾病対策課 課長補佐)
4. 特別発言「遠隔医療の推進に向けた立法府からの取り組み—骨太の方針 2015 の策定等について—」
秋野 公造 (参議院議員、長崎大学 客員教授)

分科会

第二会場(展示室) 8:45-10:15

新しい周産期遠隔医療と周産期 ICT の普及と展望

Dissemination and prospects of new perinatal telemedicine and perinatal ICT

座長: 小笠原敏浩 (岩手県立大船渡病院)、山田 恒夫 (一般財団法人医療情報システム開発センター)

1. 「遠隔妊婦検診 10 年の歩みと、これからの地域周産期医療」
小笠原敏浩 (岩手県立大船渡病院)
2. 「重症心疾患の胎児診断の現状と遠隔医療への挑戦」
川滝 元良 (東北大学大学院医学系研究科融合医工学分野、神奈川県立こども医療センター)
3. 「標準化を見すえた第二世代電子母子健康手帳」
原 量宏 (香川大学瀬戸内圏研究センター)
4. 「日本の周産期医療 ICT を世界に広める」
樽松 八平 (BHN テレコム支援協議会)
5. 「最新 ICT 技術の動向と周産期医療への応用」
山田 恒夫 (一般財団法人医療情報システム開発センター)

一般演題 A-5

第一会場（記念ホール） 9:00-9:45

座長：東福寺幾夫（高崎健康福祉大学）

- A-5-1 遠隔医療推進策の動向
Recent topics in and status of telemedicine promotion in Japan
長谷川高志¹、酒巻 哲夫²（¹群馬大学医学部付属病院、²高崎市医師会看護専門学校）
- A-5-2 伝送画像による病理診断を実現するためのデジタルパソロジー技術基準の検討
Study on guidelines for digital pathology equipment to enable remote pathology-based diagnosis
東福寺幾夫¹、白石 泰三²、佐々木 毅³（¹高崎健康福祉大学、²三重大学、³東京大学）
- A-5-3 e-Health の長期的効果をどう計測するか：DID-PSM の応用例
How to measure the long-term effect of e-Health : Application of DID-PSM
辻 正次（兵庫県立大学大学院応用情報科学研究科）

一般演題 A-6

第一会場（記念ホール） 13:20-14:20

座長：松本 武浩（長崎大学病院 医療情報部）

- A-6-1 医療連携におけるベンダーニュートラルシステムの必要性と課題
Necessity and problems of vender neutral system in medical record sharing
近藤 博史（鳥取大学医学部付属病院医療情報部）
- A-6-2 救急搬送支援システムの試作
Designing a support system for emergency patient transport
岡崎 浩幸、松本 浩樹（前橋工科大学）
- A-6-3 地域医療 ICT ネットワーク「あじさいネット」を利用した長崎県全域の検査データ共有に関する取り組み
The development of the laboratory test data sharing all over the Nagasaki prefecture through the wide area medical information network called 'Ajisai-net'
松本 武浩¹、石黒 満久²、森田 嘉昭³、伊藤 龍史⁴、本多 正幸¹（¹長崎大学病院 医療情報部、²NTT データ（株）公共システム事業本部、³富士通（株）ヘルスケアシステム事業本部ライフイノベーション事業部、⁴SEC（株）医療システム事業部）
- A-6-4 Health checkup and telemedicine system in post-disaster situations
Min Hu^{1,2,3}, Megumi Sugimoto², Andrew Rebeiro Hargrave², Yasunobu Nohara¹, Michiko Moriyama⁴, Ashir Ahmed^{2,5}, Shuji Shimizu³, Naoki Nakashima^{1,2,3}（¹Medical Information Center, Kyushu University Hospital, Japan, ²Institute of Decision Science for a Sustainable Society, Kyushu University, Japan, ³Telemedicine Development Center of Asia, Kyushu University Hospital, Japan, ⁴Clinical Nursing Research Laboratory, Hiroshima University, Japan, ⁵Department of Advanced Information Technology, Kyushu University, Japan）

一般演題 A-7

第二会場（展示室） 13:20-14:20

座長：吉嶺 裕之（社会医療法人春回会 井上病院）

- A-7-1 米国におけるクラウドベース CPAP 診療の現状
Cloud-based system for managing patients with sleep-disordered breathing in USA
吉嶺 裕之¹、成井 浩司²（¹社会医療法人春回会 井上病院、²国家公務員共済組合連合会虎の門病院）
- A-7-2 在宅人工呼吸器の遠隔監視、アラーム通報の試み
Telemonitoring and remote alert system of artificial respirator for in home-care
中村 昭則^{1,2}、滝沢 正臣³、宮崎 大吾^{2,4}、石川 哲男⁵、山寺 賢⁵、鈴木 徹也⁶（¹信州大学医学部附属病院難病診療センター、²信州大学医学部在宅療養推進学講座、³信州大学医学部附属病院総合遠隔診療室、⁴信州大学医学部附属病院脳神経内科、リウマチ・膠原病内科、⁵キッセイコムテック株式会社、⁶オリジン医科工業株式会社）

- A-7-3 宅医療総合支援システムの構築に向けたリアルタイム多地点遠隔生体モニタリングシステムの開発
Development of real time multipoint telemonitoring of vital signs for architecture of general home care system

吉川健太郎^{1,2}、滝沢 正臣² (1)NHO まつもと医療センター 中信松本病院小児科、²信州大学医学部附属病院)

- A-7-4 高齢者慢性疾患の経過観察中に発生する急性疾患に対するテレモニタリングの有効性
—バイタルサインと歩数のモニタリングによる発症の早期検出能
Predictability of acute onset diseases by telemonitoring of vital signs and step counts in elderly patients with chronic diseases

本間 聡起¹、藤村香央里²、伊藤 良浩²、前田 裕二² (1)独立行政法人 地域医療機能推進機構 埼玉メディカルセンター・健康管理センター、²NTT セキュアプラットフォーム研究所)

一般演題 B-5

第四会場 (研修室) 9:00-10:00

座長: 本村 秀人 (パナソニック株式会社)

- B-5-1 バーチャルスライド画像 (VS) を用いた WEB カンファレンスの検証
松村 翼¹、三浦 康弘²、宇月 美和³、黒瀬 顕⁴、菅野 祐幸⁵、佐藤 洋一¹、澤井 高志⁶
(¹岩手医科大学医学部 医学教育学講座、²岩手医科大学 教養教育センター 人間科学科 文学分野、³東北文化学園大学 医療福祉学部 看護学科、⁴弘前大学大学院 医学研究科病理診断学講座、⁵信州大学医学部病理組織学、⁶東北大学病理形態学 / 仙台オープン病院 病理診断科)
- B-5-2 バーチャルスライドを利用した国際的な病理コンサルテーションシステムの開発
宇月 美和^{1,5,6}、松村 翼²、三浦 康宏²、黒瀬 顕³、菅野 祐幸⁴、佐藤 洋一²、澤井 高志^{5,6}
(¹東北文化学園大学医療福祉学部看護学科、²岩手医科大学矢巾キャンパス、³弘前大学大学院 医学研究科病理診断学講座、⁴信州大学医学部病理組織学講座、⁵東北大学大学院医学系研究科病理形態学分野、⁶仙台オープン病院病理診断科)
- B-5-3 PC 遠隔操作ソフトとバーチャルスライドを用いた多施設共同研究病理中央診断支援システム構築
鈴木 博義¹、小森 隆司²、澁谷 誠³、市村 孝一⁴、大沢 昌二⁵、川口 順三⁶ (1)国立病院機構仙台医療センター 臨床検査科、²都立神経病院 臨床検査科、³東京医科大学 八王子医療センター 中央検査部、⁴国立がん研究センター研究所 脳腫瘍連携研究分野、⁵国立病院機構仙台医療センター 情報管理室、⁶日本アレックス (株))
- B-5-4 コンタクト・イメージセンサによる病理画像配信システムの構築
佐藤 太一、澤田 好秀、本村 秀人 (パナソニック株式会社)

一般演題 B-6

第三会場 (5 階会議室) 9:00-10:00

座長: 影治 照喜 (徳島大学病院 地域脳神経外科診療部)

- B-6-1 大規模遠隔カンファレンスシステムを用いた広域がん放射線治療ネットワークの取り組み
萩原 靖倫^{1,2}、根本 建二^{2,3}、山田 正義³、原田麻由美³、赤松妃呂子³、市川真由美³、黒田 勇氣³、川城 壮平⁴、野宮 琢磨⁴ (1)神奈川立がんセンター・放腫、²山形大・東北未来がん、³山形大・放腫、⁴放医研)
- B-6-2 遠隔テレビ会議システムを用いた津波被災地病院の外来・病棟の連携
三島 英換、清元 秀泰 (東北大学 東北メディカル・メガバンク機構地域医療支援部門)
- B-6-3 遠隔カンファレンスシステムを用いた関連病院 TV 会議
清水 宏明、小田 正哉、高橋 佑介、竹村 克奈 (秋田大学脳神経外科)
- B-6-4 医療過疎地域に対する ICT による急性期脳卒中診療支援の検証
影治 照喜¹、岡 博文¹、小幡 史明²、田畑 良³、谷 憲治³、三橋乃梨子⁴、坂東 弘康⁵、永廣 信治⁶、里見淳一郎⁶、溝渕 佳史⁶ (1)徳島大学病院 地域脳神経外科診療部、²徳島県那賀町国民健康保険 木頭診療所、³徳島大学大学院医歯薬学部研究部 総合診療医学分野、⁴徳島県那賀町国民健康保険 日野谷診療所、⁵徳島県立海部病院、⁶徳島大学大学院医歯薬学部研究部 脳神経外科学分野)

一般演題 B-7**第三会場 (5 階会議室) 13:20-14:20**

座長：坂田 信裕 (プロジェクトチーム デイメンティア (認知症患者支援用ロボットアプリ開発チーム))

- B-7-1 遠隔地からの被災地母子支援施設へのタブレット型多機能携帯端末使用による健康相談の試み
大槻 優子¹、川名ヤヨ子²、中田 久恵¹ (1つくば国際大学医療看護学部看護学科、²前 了徳寺大学保健医療学部看護学科)
- B-7-2 高齢者を対象としたテレナーシングシステムの運用上の課題
中島 紀高¹、亀井 延明²、東福寺幾夫³、亀井 智子⁴、山本 由子⁵、金盛 琢也⁴ (1聖路加国際大学亀井研究室、²明星大学理工学部、³高崎健康福祉大学、⁴聖路加国際大学看護学部、⁵武蔵野大学人間科学部)
- B-7-3 人型ロボットを用いて行う認知症患者と家族の生活支援を目的としたアプリケーションの開発検討
坂田 信裕^{1,2}、宋 翀¹、吉村 英樹¹、阿久津靖子¹、武藤 朋子¹ (1プロジェクトチーム デイメンティア (認知症患者支援用ロボットアプリ開発チーム)、²獨協医科大学情報教育部門)
- B-7-4 在宅主治医のチーム化による看取連携システムの開発
石川 哲男¹、藤原 尚¹、磯村 高之²、滝沢 正臣³、中村 昭則⁴ (1キッセイコムテック株式会社、²磯村クリニック・長野市医師会、³信州大学医学部附属病院、⁴信州大学医学部附属病院難病診療センター)

一般演題 B-8**第四会場 (研修室) 13:20-14:05**

座長：吉澤 明彦 (京都大学病院病理診断科)

- B-8-1 中規模地域拠点病院への術中迅速遠隔病理診断支援の現況と今後の課題
阿部 博之¹、阿部一之助¹、及川 守康¹、齊藤 千佳¹、金子 翔¹、鎌田江美子¹、杉山 達朗¹、増田 弘毅²、南條 博³、後藤 明輝³ (1秋田病理細胞診研究センター、²雄勝中央病院、³秋田大学医学部病理診断科・病理部)
- B-8-2 バーチャルスライド (VS) 画像による VS 診断 (VS 画像のみでの病理診断) の正診性
吉澤 明彦 (京都大学病院病理診断科)
- B-8-3 現場発電型電源を用いたウェアラブルセンサテレメーター発信器
Wearable sensor telemeter transmitter with on-site power generator
松本 成史、竹内 康人、柿崎 秀宏 (旭川医科大学 腎泌尿器外科学講座)